

かし、われわれの実験よりずっと厳しい振動対策を必要とする装置が現に作られているので、適当な対応策は必ず見付かるであろう。

以上の実験から推して、今後現実に 160 MHz 干渉計に応用するにはなお幾つかの技術上の困難に出合うと思われるが、時間をかけて一つ一つ克服して行けるものと確信している。なお上に述べた光学的結像処理方式では“多周波同時観測”へ拡張するのが比較的容易であると思われる。変調素子に加えられる異なる周波数の信号に対して、レーザー光は異なる方向に回折されるからである。したがって、一次元干渉計ではスペクトルの機能を兼ねそなえることが容易にできるのである。私達は将来の拡張として 160 MHz の他に ~300 MHz での同時観測を考えている。

基礎実験を行うに当たって、特殊な変調素子を心よく試作し実験に借して下さった松下技研画像処理研究室の速水氏および福本氏に、この紙面を借りて厚く感謝する。両氏の御協力なしには基礎実験を行うことは事実上できなかったであろうし、この実験を踏み台にした応用へ踏み切ることでもできなかったであろう。また、東工大像情報工学研究施設の辻内教授および上羽氏からは多くの有益な助言をいただいた。実験の間、装置の製作など塩見氏（東京天文台太陽電波部）に協力していただいた。

掲 示 板

教 官 公 募

此度当教室では次の要領で教官 1 名を公募します。

記

1. 公募人員 助手 1名
2. 専攻分野 宇宙物理学 (広い意味の恒星物理学)
3. 着任時期 おそくとも昭和 51 年 10 月 1 日
4. 応募資格 修士課程終了以上
5. 提出書類 (イ) 履歴書 1 通
(ロ) 業績リスト (著書, 論文) 1 部
(ハ) 主要著書・論文別刷 各 1 部
(ニ) 今後の研究計画 1 通
6. 締 切 昭和 51 年 7 月末日 (必着)
7. 提出先および問合せ先

〒 310 水戸市文京 2-1-1

茨城大学理学部物理教室 小暮 智一
(電話 0292-26-1621 内線 485)

訂 正

本誌 69 巻 5 号 (5 月号) 148 頁に掲載いたしました訂正記事中の電波放射束の単位の一部に誤りがありました。Wm⁻²Hz⁻¹ が正しい単位です。

わが国唯一の天体観測雑誌

天文ガイド

定価 240 円 (〒 45 円) 76 — 8 月号・毎月 5 日発売!

● 8 月号のおもな内容

★夏休みむけの楽しい記事が、「テンドームの作り方」を紹介し、テンはテントのテン、つまりテントで作る移動型の観測用丸屋根です。

★夏休みむけ第二弾。長野県榑池にある星の家の紹介。涼しい高原、降るような星空、そして 20cm 級の望遠鏡も備えてあります。

★暑い最中のことなので、気軽な読み物を。地球と月の間の両方の引力がちょうど釣合っている所に、宇宙ステーションを作ろうという話です。

★夏の名物ペルセウス座流星群の観測は？

彗星ガイドブック

日本は数十年前から、新彗星発見で世界のトップに立っています。しかもその発見が、若いアマチュア天文家によるものだったために、後に続く若者の数は最近ますます多くなりつつあります。そうした若い人々の手引きとなることを目指して、戦後 6 個の新彗星を発見した著者が、熱意をこめて書いた本です。

● 関 勉著 / A5 変型・258 ページ・1,300 円好評発売中

新版 天体観測ハンドブック

1965 年 9 月に初版を発行以来、天体観測ハンドブックは 12 版を重ねました。天文ファンの毎年の観測方針を決定する天文年鑑の内容をより理解し、十分に活用するために、天文ファン必携です。今回新版として新たに 1 章を追加し、例題を改め、全ページ新組とし、読みやすいスタイルで刊行されます。

● 鈴木敬信著 / B6・192 ページ・500 円好評発売中

誠文堂新光社 東京都千代田区神田錦町 1-5
振替東京 7-6294 電話 03(292)1211